

令和6年度 経営発達支援計画の評価（報告）

（評価者・氏名）

敬称略）

No.	委員氏名	所 属 等	備 考
1	田 宮 大 輔	中小企業診断士	当所商工調停士
2	池 田 真 幸	三島信用金庫伊東営業部長	金融機関
3	川 口 貴 保	伊東市観光経済部産業課長	行政・中小企業支援担当
4	堀 野 晋 也	伊東商工会議所	事務局長
5	塩 谷 親 平	伊東商工会議所	中小企業相談所所長

講評

- ・数値目標を下回る項目が目立つ。件数ありきということではないが、なるべく目標値に近づくよう取り組んでもらいたい。地域経済の活性化に資する取り組みでは、力を入れている伊東ブランドにおいて13品目中12品目が認定となった。商品やブランド価値を引き立たせるための支援に取り組んだことが結果となって表れたものであり、評価できる。
- ・事業承継相談を毎月開催しており、地域事業者への声掛けや承継支援への取り組みに力を入れたことが確認できる。事業承継は地域や雇用の維持発展に不可欠なものであり、引き続き力を入れてもらいたい。
- ・目標を達成できていない項目については、課題等を検証し、効果的・効率的な事業の遂行に努めてもらいたい。
- ・調査件数・指導回数などで、全て目標以上の事業実績項目がない。また数値のみで、どのような事業内容なのか判断ができない。今後、評価に伴う事業実績報告の作成について検討すべきだと思う。今回は、5か年計画の最終年度のみを評価したが、5年間全体の計画を評価するのであれば、7割程度は達成できていると感じた。
- ・より多くの事業者を支援するためには、支援件数などの数値目標を掲げ、それを達成するための計画が必要。但し、件数だけではなく、支援内容を可視化できれば、評価はまた変わってくると思う。
- ・事業者支援の充実化を図るため、所内研修を複数回実施した。伴走支援者としての資質向上のための取り組みは、今後も積極的に行ってほしい。

以 上